

研究課題名：	ドクターカー所有病院における D-Call Net の効果的な運用方法に関する多施設前向き観察研究
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 一般財団法人 日本自動車研究所 安全研究部 総合研究代表者 一般財団法人 日本自動車研究所 高山 晋一
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 救急科部長 清田 和也 さいたま赤十字病院 救急科医師 早川 桂
研究期間：	2019年 11月 1日 ～ 2021年 3月 31日
研究の目的と意義：	<p>平成 30 年において、交通事故による死者数は 3,449 人となり、減少傾向にあるものの現在も多くの方が交通事故の被害に遭っている。自動車業界としては、交通事故死者数を低減させるため、様々な対策を講じており、事故を発生させない予防安全や、被害を低減させる衝突安全に関する研究をおこない、研究成果を市販車へ導入しているところであるが、交通事故死者数をゼロにすることは未だできていない。そのため、事故後の救命効果を高めるために、先進事故自動通報システムに関する設備を導入した。</p> <p>国内の救急医療体制としてはドクターヘリのみならず、ドクターカーも運用されており、先進事故自動通報システムの効果として、ドクターカーへの対応は期待できるところである。</p> <p>そこで、本研究ではドクターカーが配備されている病院において、先進事故自動通報システムを構築し、運用をおこない、先進事故自動通報システムとドクターカーによる救命効果を検討することを目的とする。</p>
研究内容：	<p>本研究は、先進事故自動通報システム (D-Call Net) によって医師が現場出場し、研究参加施設に搬送され治療を受けた交通外傷事例を対象とする。</p> <p>交通事故発生からの時間経過 (救急隊活動時間、ドクターカー活動時間)、ならびに、D-Call Net が無かった場合の救急隊のみの搬送状況を勘案し、予想した予後の状況を実際の予後と比較する。</p> <p>転帰の情報、救急隊活動時間、ドクターカー活動時間、意識レベル、血圧、呼吸数、外傷スコア、年齢、性別の情報を診療録より用いる。介入や侵襲は伴わない。</p>
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは

	無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名：清田 和也、早川 桂 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111